

## 平成28年度学校評価実施報告書

弘前大学教育学部附属特別支援学校

### 1 実施方法

本校では、家庭や地域社会の期待や要望を的確にとらえて、開かれた学校づくり及び教育活動の一層の充実を図るため、学校評価を実施している。平成28年度は、主たる学校評価として、教員一人一人による23項目にわたる教職員自己評価を実施した。あわせて、学校評価の参考とするため保護者アンケート及び学校関係者評価を実施した。今年度の各評価の具体的な実施方法、処理等は次のとおりである。

#### (1) 教職員自己評価（内部評価）【資料1】

今年度は、学校課題の焦点化を図るため、昨年度129項目から23項目に精選し、各教員が23項目について4段階評価をするとともに、評価点2以下のものについては、課題となることを踏まえた、具体的な改善策等についても記入してもらうこととした。結果の扱いは、評価点の平均が3.0未満の項目及び評価点1と2が全教員のおおよそ2割以上の場合、関係部署等で対応策を検討し、全体で確認することとした。あわせて、個人の意見についても、管理職が全体で確認する必要があると認められたものについては取り上げることにした。

#### (2) 保護者アンケート【資料2】

教育活動全般にわたる19項目について、保護者対象に4段階評価のアンケートを実施する。評価点2以下については、具体的な意見等を記入してもらうこととした。要望等回答が必要なものについては、校内で検討し、結果や改善策を保護者に文書でお知らせするとともに、保護者会で説明する。

#### (3) 校関係者評価【資料3】

学校評議員3名に、第2回学校評議員会で学校の今年度の取り組みと成果を説明した後で、11項目について4段階評価と今後の改善策を記入してもらうこととした。結果及び意見の反映の状況については、次年度の第1回目の学校評議員会で説明する予定である。

### 2 結果、改善策等

#### (1) 教職員自己評価（内部評価）

昨年度と同様に評価の低かった項目として「キャリア教育全体計画に基づく小中高一貫した取り組み」がある。これは文部科学省委託事業「キャリア教育・就労支援の充実事業」での取り組みで小学部から高等部まで、系統的にいろいろな取り組みをしているものの、キャリア教育全体計画の共通理解が十分ではなかったと考える。

また、交流及び共同学習の充実については、外国人留学生と交流するための連絡調整が上手くいかず実施に至らなかったと考える。

#### (2) 保護者アンケート

19項目のうち、昨年度より評価点が高くなった項目が11、同じ項目が6、低くなった項目が2と全体的に高評価であった。評価が低かった項目で、特に学習環境の整備については、今後も引き続き大学へ要望していくつもりである。

#### (3) 学校関係者評価

回答数が少ないため、あえて評価点の平均は出していないが、全体的に高評価であった。また意見では「キャリア教育・就労支援等の充実事業」「障害者のスポーツ実践事業」や造形作品展などについて、好意的な意見をいただいた。

### 3 総括

教職員自己評価（内部評価）、保護者アンケート及び学校関係者評価の結果から、平成29年度に向けて、学校運営、特に重点事項等を見直し、課題を明確にし共通理解を図る必要があると考えた。検討の結果、平成29年度の経営重点事項を下記のとおりとすることとした。

#### (1) 研究活動の充実と専門性の向上

- ・校内研究の推進
- ・学校課題及び地域のニーズに即した計画的な研修派遣及び研修会の実施
- ・学習指導に関連した個人研究の推進

#### (2) 小中高一貫したキャリア教育の充実

- ・キャリア教育全体計画に基づく小中高一貫した取組
- ・大学及び各関係機関と連携した「キャリア教育・就労支援等の充実事業」の実施
- ・3年間を見通した計画的な現場実習等の実施

#### (3) 体育的・文化的活動の充実

- ・チャレスポタイムの実施
- ・障害者スポーツ大会等の実施や参加
- ・大学施設や人材を活用した作品づくりと学校展の開催

#### (4) 交流及び共同学習の充実

- ・附属校園等との計画的な交流及び共同学習の実施
- ・弘前大学外国人留学生との計画的な交流活動の実施

#### (5) 学習環境の整備と児童生徒の安全の確保

- ・グラウンド等施設・設備の充実と環境整備
- ・学校図書及びICT機器を含む教材等の整備と活用
- ・危機管理体制の充実

また、学校の取組を保護者へ伝えるためにも、学校だよりを発行し、学級だよりや学部だよりとともに情報発信をすすめていく必要があると考えている。学校評価については、保護者や評議委員からの意見を踏まえ、保護者アンケートや学校関係者評価の質問項目の見直しをすすめていきたいと考えている。学校評価が学校改善につながるように検討していきたい。

【評価】 4…十分(適切)である 3…どちらかといえば十分(適切)である 2…どちらかといえば不十分(不適切)である 1…不十分(不適切)である

No.	評価項目	4	3	2	1	平均
1	研究活動の充実と専門性の向上 (1)公開研究発表会に向けた計画的な準備と実施	13	18	0	0	3.4
	(2)学校課題及び地域のニーズに即した計画的な研修派遣	8	21	2	0	3.2
	(3)大学の専門性の活用等による個人研究の推進	7	18	6	0	3.0
2	小中高一貫したキャリア教育の充実 (1)キャリア教育全体計画に基づく小中高一貫した取組	4	18	8	1	2.8
	(2)大学及び関係機関と連携した「キャリア教育・就労支援等の充実事業」の実施	9	15	7	0	3.1
	(3)3年間を見通した計画的な現場実習等の実施	9	18	2	0	3.2
3	体育的・文化的活動の充実 (1)図画工作, 美術, 音楽における表現活動の充実	16	15	0	0	3.5
	(2)障害者スポーツ大会等への参加	22	9	0	0	3.7
	(3)各種作品展への参加	17	13	1	0	3.5

4	交流及び共同学習の充実 (1)附属校園等との計画的な交流及び共同学習の実施	5	17	9	0	2.9
	(2)弘前大学外国人留学生等学生との計画的な交流活動の実施	1	14	13	1	2.5
5	学習環境の整備と児童生徒の安全の確保 (1)グラウンド等施設・設備の充実	2	22	7	0	2.8
	(2)学校図書及びICT機器を含む教材等の整備と活用	7	21	3	0	3.1
	(3)危機管理体制の充実	8	22	1	0	3.2
6	学部運営(所属学部について評価する) (1)児童生徒の実態を踏まえた学部目標, 学校目標を設定しているか。	15	15	1	0	3.5
	(2)学部・学級会計が計画的に処理されているか。	18	12	0	0	3.6
7	分掌・委員会活動 (1)分掌業務が計画的・効率的に行われているか。	12	17	1	0	3.4
	(2)委員会業務が計画的・効率的に行われたか。	12	21	2	0	3.5
	(3)業務分担が適切に行われ, 各自がその責任を果たそうと努めているか。	13	16	1	0	3.4

平成28年度 教職員自己評価(内部評価) 集計

【資料1】

8	計画的な教育活動 (1)個別の教育支援計画,年間指導計画,個別の指導計画,個別の移行支援計画に基づいて計画的な教育活動が展開されているか。	11	19	0	1	3.3
9	保護者との連携 (1)保護者との信頼関係が保たれ,父母の会と教師の会,後援会の理解と協力が得られているか。	16	15	0	0	3.5
10	地域・関係機関との連携 (1)地域住民や関係諸機関との連携が適切に図られているか。	9	22	0	0	3.3
11	教育実習等の充実 (1)教育実習,学校生活体験実習,介護等体験実習の指導・評価が適切に行われているか。	14	17	0	0	3.5
12	特別支援学校教員としての専門性の向上 (1)専門性を高め,職責を遂行するための個人研修が積極的に進められているか。	8	20	3	0	3.2

## 平成28年度 学校評価（保護者アンケート）集計結果について

回答数 54 名 (回収率 94.7%)

番号	内 容	評 価 点								評価点の平均		
		4		3		2		1		平成 28年度	平成 27年度	平成 26年度
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%			
1	学校は、社会参加や自立を目指した教育活動を適切に行っていると思いますか。	33	61.1%	19	35.2%	0	0.0%	0	0.0%	▼ 3.6	3.7	3.5
2	健康や安全、給食に関する取組は適切だと思いますか。	33	61.1%	17	31.5%	3	5.6%	0	0.0%	△ 3.6	3.5	3.5
3	行事の内容や回数、実施時期等は適切だと思いますか。	29	53.7%	23	42.6%	1	1.9%	0	0.0%	△ 3.5	3.4	3.3
4	施設や教材教具等、学習環境の整備は適切だと思いますか。	24	44.4%	25	46.3%	3	5.6%	0	0.0%	3.4	3.4	3.5
5	お子さんは楽しい学校生活を送っていると思いますか。	33	61.1%	18	33.3%	0	0.0%	2	3.7%	▼ 3.5	3.7	3.7
6	教職員は相談しやすく、丁寧に対応していると思いますか。	32	59.3%	17	31.5%	4	7.4%	0	0.0%	▼ 3.5	3.6	3.6
7	将来の進路や職業についての指導、また進路に関する情報提供が適切に行われていると思いますか。	35	64.8%	15	27.8%	2	3.7%	0	0.0%	△ 3.6	3.5	3.5
8	保護者や地域住民に対して情報提供が適切に行われていると思いますか。	25	46.3%	23	42.6%	2	3.7%	1	1.9%	3.4	3.4	3.3
9	お子さんや保護者の個人情報の取り扱いは適切だと思いますか。	34	63.0%	17	31.5%	1	1.9%	0	0.0%	▼ 3.6	3.7	3.6
10	本校の安全対策（避難訓練、不審者侵入対策）は適切だと思いますか。	29	53.7%	23	42.6%	0	0.0%	0	0.0%	△ 3.6	3.5	3.4
(1) -①	「個別の教育支援計画」は、分かりやすい用語や表現により記述されていると思いますか。	31	57.4%	20	37.0%	1	1.9%	0	0.0%	△ 3.6	3.4	3.5
(1) -②	年間目標・短期目標は児童生徒の実態に即して設定されていると思いますか。	35	64.8%	17	31.5%	0	0.0%	0	0.0%	△ 3.7	3.6	3.5
(1) -③	「個別の指導計画」に基づいて計画・実践・評価が適切に進められていると思いますか。	31	57.4%	20	37.0%	1	1.9%	0	0.0%	△ 3.6	3.5	3.4
(1) -④	評価に基づいて、次の目標が適切に設定されていると思いますか。	32	59.3%	18	33.3%	1	1.9%	0	0.0%	△ 3.6	3.5	3.5
(2) -①	「個別の教育支援計画」は、家庭での取組を計画する上で役立ちましたか。	26	48.1%	22	40.7%	3	5.6%	0	0.0%	3.5	3.5	3.4
(2) -②	家庭での取り組みについて、意識して進めることができましたか。	19	35.2%	29	53.7%	4	7.4%	0	0.0%	3.3	3.3	3.3
(3) -①	「個別の教育支援計画」は保護者との十分な話し合いの上で作成されていると思いますか。	34	63.0%	18	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	△ 3.7	3.6	3.5
(3) -②	家庭での取組について、担任と連絡を取り合いながら進めることができましたか。	27	50.0%	20	37.0%	4	7.4%	1	1.9%	▼ 3.4	3.5	3.4
(3) -③	個人面談や家庭訪問等、話し合いの回数や時間の設定は適切だと思いますか。	29	53.7%	20	37.0%	3	5.6%	0	0.0%	3.5	3.5	3.4

※一部未回答有り

## 平成28年度 評価結果一覧

【下段は27年度】

※ 評価点 4…達成できている, 3…ほぼ達成できている, 2あまり達成できていない, 1…達成できていない  
?…よくわからない, とします。

ご記入できるところでよろしいので, 評価点の該当すると思われるところに○印を付けてくださるようお願いいたします。

領域	No.	評価項目	評価点				
学校目標・経営方針	1	子どもの生活, 保護者の願いが考慮された, 基本目標, 具体目標である。 ・自閉的傾向のある児童生徒や能力差のある児童生徒に対する指導の充実及び進路指導の充実を踏まえた目標を設定している。	4	3	2	1	?
			<b>2</b>	<b>1</b>			
			<b>2</b>	<b>1</b>			
	2	基本目標「～積極的な社会参加を目指す」が日常生活に反映されている。 ・校外学習など校外における学習場面を設定している。 ・個々の希望に応じた進路相談や進路選択が行われている。	4	3	2	1	?
			<b>3</b>				
			<b>2</b>	<b>1</b>			
	3	学校経営方針, 経営の重点が教育活動に生かされている。 ・教育実習, 介護体験等の学生に対する実習指導が行われている。 ・児童生徒一人一人の能力の伸長を図るための指導に関する研究・実践が行われている。	4	3	2	1	?
			<b>2</b>	<b>1</b>			
			<b>2</b>	<b>1</b>			
教育課程編成及び実施	4	保護者や地域社会の期待に応えうる教育課程編成である。 ・児童生徒の実態に即した学習が設定され, 工夫された指導が展開されるなど適切な教育内容が編成されている。	4	3	2	1	?
			<b>1</b>	<b>2</b>			
			<b>1</b>	<b>2</b>			
	5	子どもの人権を尊重し, 障害の状態等, 個々の実態に配慮した教育活動が進められている。 ・個々の成長を促すための計画を作成し, その活用を図っている。	4	3	2	1	?
			<b>2</b>	<b>1</b>			
			<b>2</b>	<b>1</b>			
	6	基本的生活習慣の習得が図られ, 明るく生き生きした子どもの学ぶ姿が見られる。 ・日常生活の指導や自立活動等の指導において身近自立や個に応じた指導を実施している。 ・運動会や学芸会, 修学旅行などの行事内容に工夫を加えて実施している。	4	3	2	1	?
			<b>3</b>				
			<b>2</b>	<b>1</b>			
	7	子どもの健康や安全について配慮がなされている。 ・安全管理マニュアルに基づいた不審者対策や定期的な訓練を実施している。 ・献立の工夫やアレルギー代替の実施をするなど食事指導を行っている。 ・日常的に保健観察票による健康状態の把握を行ったり, 健康診断結果を踏まえた健康管理を行っている。	4	3	2	1	?
			<b>2</b>	<b>1</b>			
				<b>3</b>			



	8	<p>教育相談など地域におけるセンター的役割を果たしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談の実施，小・中学校等への派遣，学校見学等を実施している。</li> <li>・地域の関係機関との連絡調整を図っている。</li> </ul>	4	3	2	1	?
			<b>2</b>				<b>1</b>
			<b>1</b>	<b>2</b>			
	9	<p>施設・設備の安全点検が定期的実施され，点検の結果が生かされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全点検を実施し，結果を踏まえた対応を行っている。</li> </ul>	4	3	2	1	?
			<b>1</b>	<b>1</b>			<b>1</b>
			<b>1</b>	<b>1</b>			
その他	10	<p>本校の教職員は，子ども，保護者，地域住民に誠意を持って接し，信頼を得るよう努力をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の様子を把握するために保護者面談や連絡帳等での情報交換を実施している。</li> <li>・学級通信等は児童生徒の様子が分かりやすく文章表記されている。</li> </ul>	4	3	2	1	?
			<b>1</b>	<b>2</b>			
			<b>1</b>	<b>2</b>			
	11	<p>地域社会への学校開放の対応が図られている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・父母の会有志による学習会等に協力している。</li> <li>・とみの工房で地域の方へ農作物を販売している。</li> </ul>	4	3	2	1	?
			<b>1</b>	<b>2</b>			
			<b>2</b>	<b>1</b>			